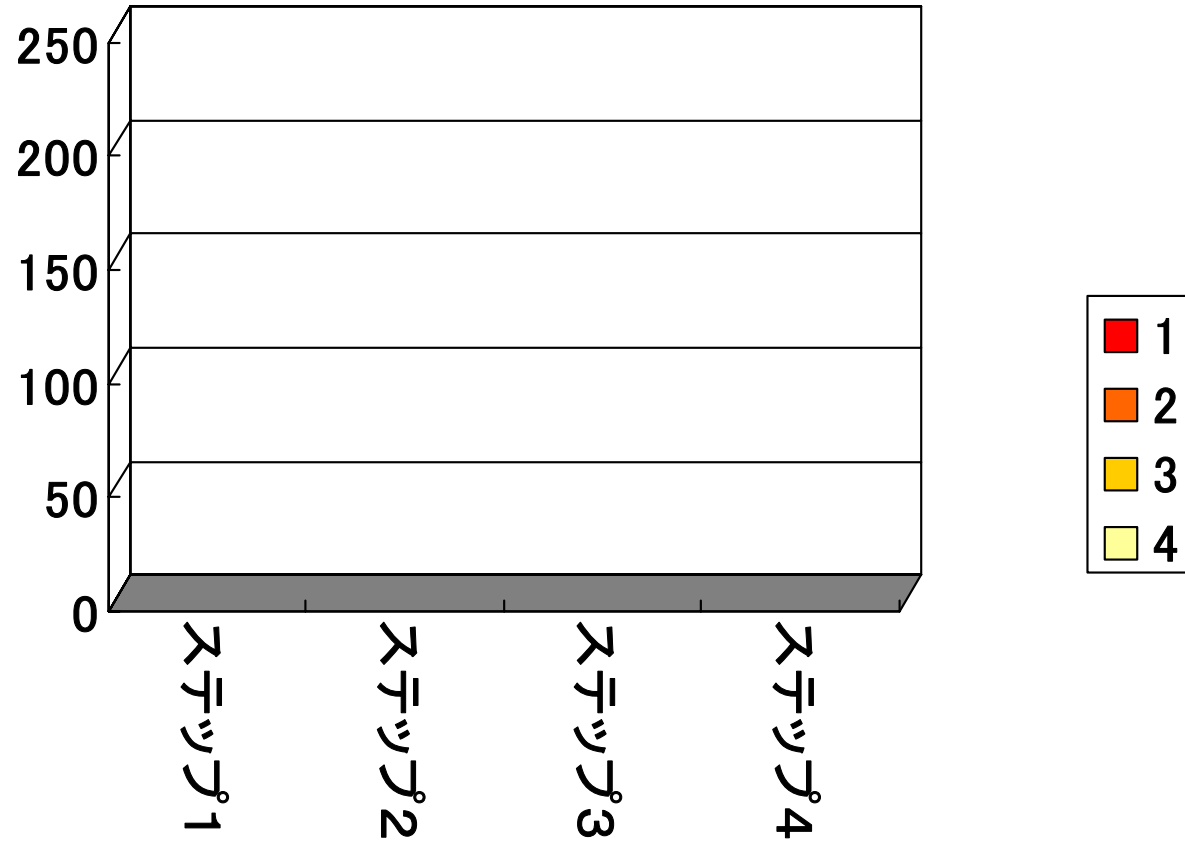
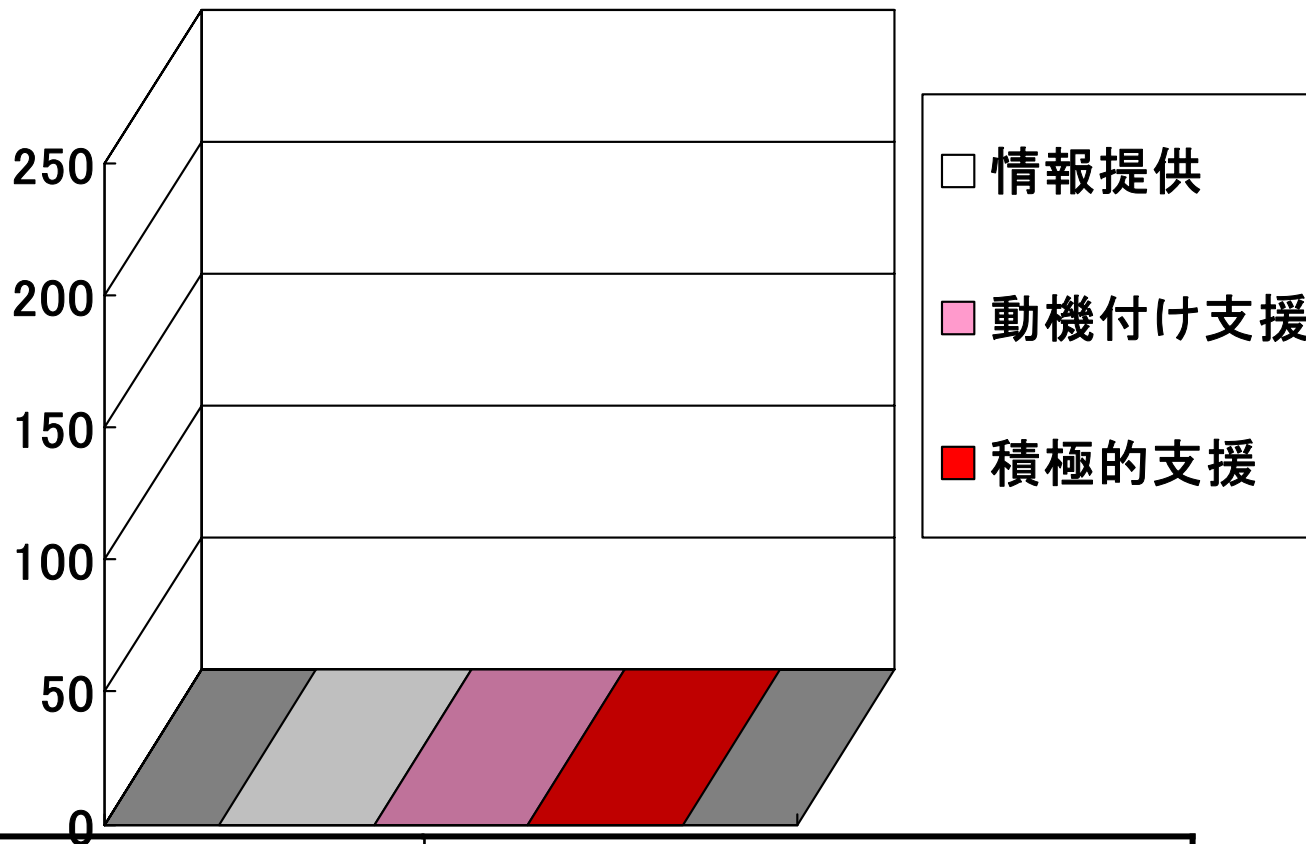


会場の皆様のデータ





		ステップ3でのレベル区分		
		情報提供 レベル	動機付け支 援レベル	積極的支 援レベル
ステップ4 質問項目 の合計点	3点		積極的 支援	
	2点	情報 提供	動機付け 支援	
	1点			
	0点			

電子的管理

- 被保険者(本人・被扶養者)全体を対象とする
- 40～74歳までの経年的データを管理する
- 被保険者の異動に伴い、データを移管する
- 企画や評価に利用可能なデータとして管理する
- レセプトデータと照合する

☆ データベースとして管理する

☆ これまでのデータ資産に影響を与えない

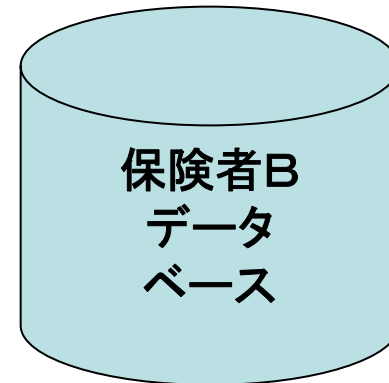
☆ データ交換の規約を定める

☆ 保険者外での評価等、二次利用には匿名化

☆ 個人や集団へのフィードバックにも利用



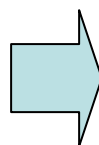
P社 X製品



Q社 Y製品

かな	まるやまたろう
名前	丸山太郎
生年	1972
性別	男

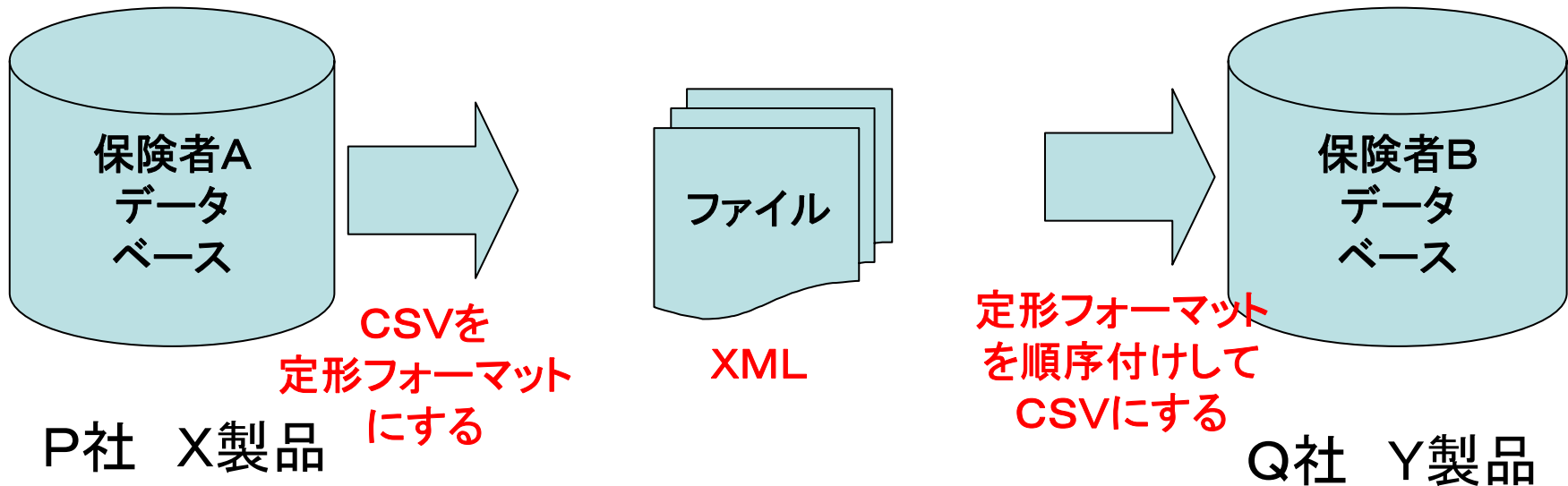
CSV形式



かな,まるやまたろう
名前,丸山太郎
生年,1972
性別,男



かな	まるやまたろう
名前	丸山太郎
生年	1972
性別	男



かな	まるやまたろう
名前	丸山太郎
生年	1972
性別	男

<基本情報>

<かな>まるやまたろう</かな>

<基本情報>

<名前>丸山太郎</名前>

<生年>1972</生年>

<性別>男</性別>

<かな>まるやまたろう</かな>

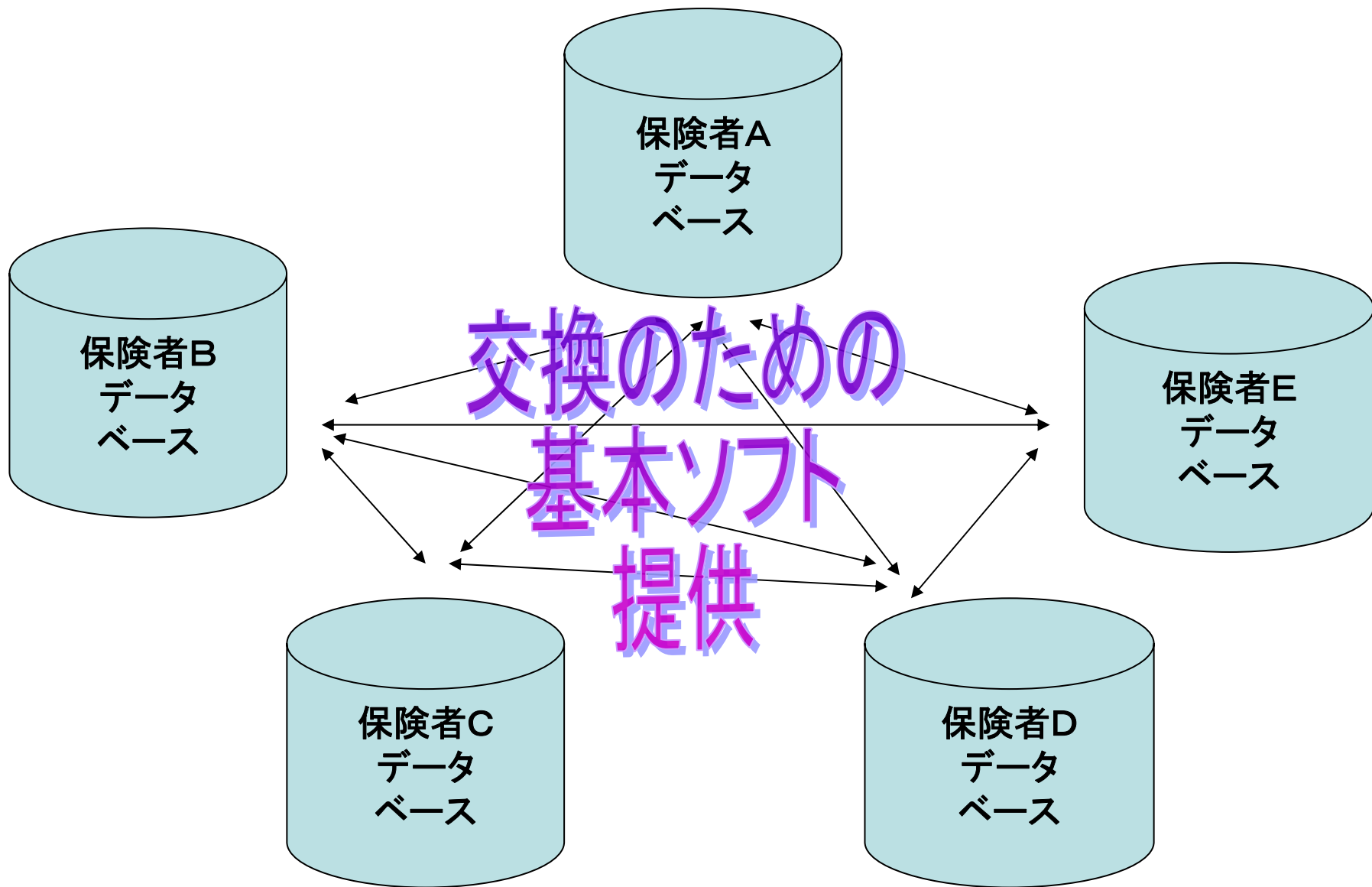
<...

...

</基本情報>

順序が変わっても
意味は同じ

名前	丸山太郎
かな	まるやまたろう
性別	男
生年	1972



電子的に取り扱うにあたって 確認すべきこと

- データの詳細
- 施設・機関のユニークID作成ルール
- 被保険者・扶養家族のユニークID作成ルール
- 保存管理の期間
- データ移転のルール
- データ抹消のルール
- データ二次利用のルール

データベースと分析

- 定形のフォーマット と コード化
- 解釈のぶれや欠損のないデータ

- ☆ 単純集計
- ☆ クロス集計
- ☆ 統計学的意味づけ
- ☆ 複雑な統計学的分析

例) 因子分析

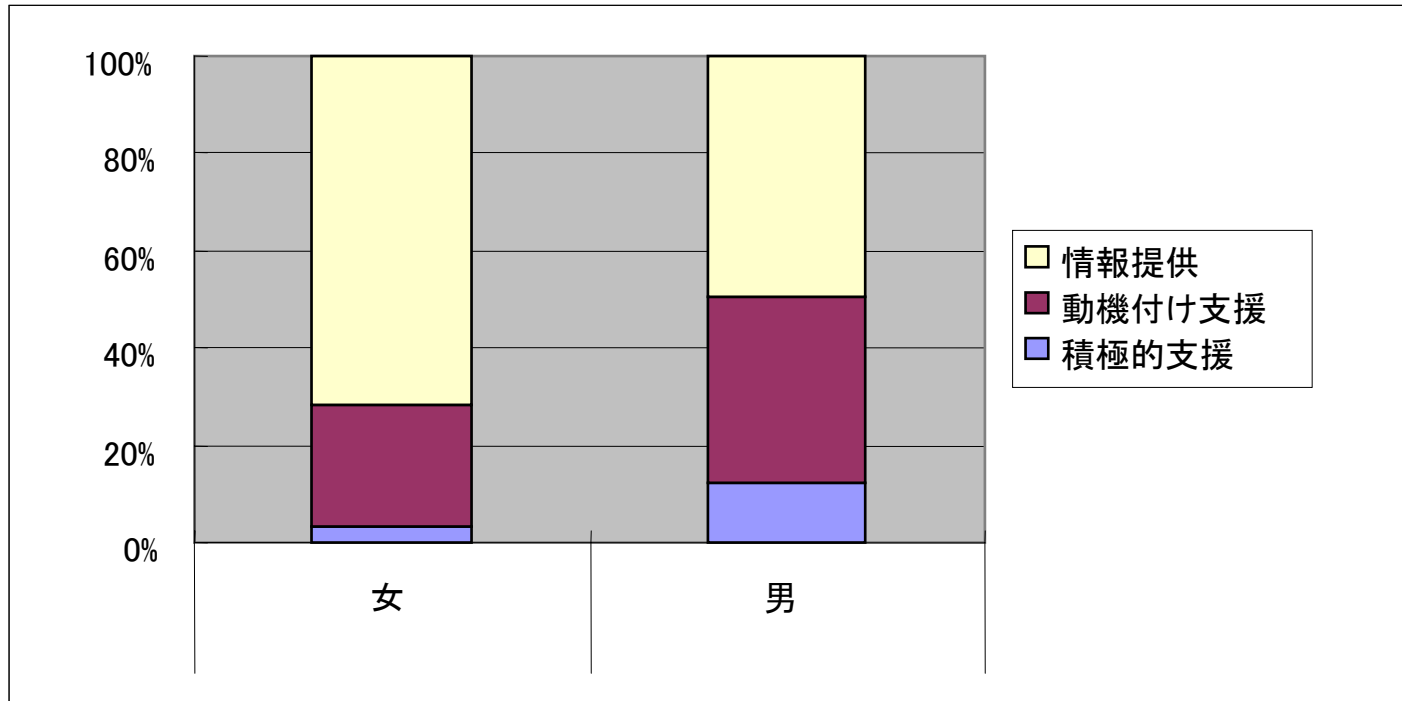
自己組織化マップ

その他、.....

コンピュータ
を利用した解

科学的根拠

ある職場の例



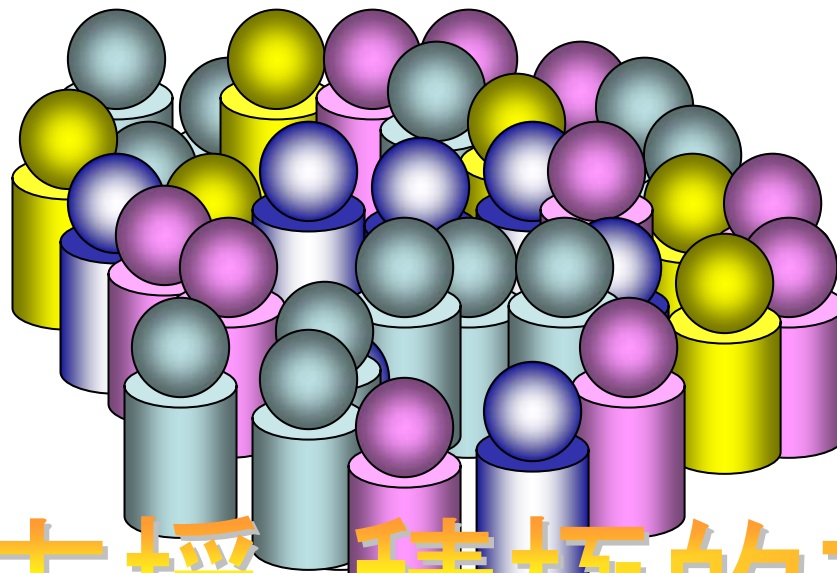
全国と比較して、どうか

肥満、糖、血圧、脂質、尿酸、の何れのファクターが問題なのか（ステップ1、2）

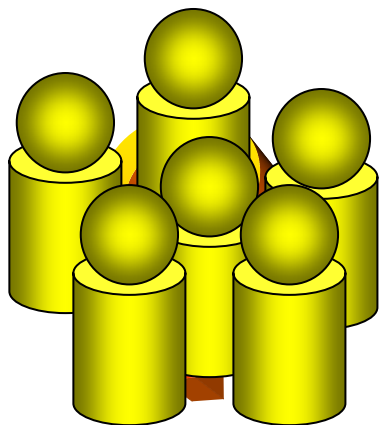
どのような生活習慣と関係があるのか（ステップ4）

問診項目も、独自に加えておかなくてはならないかもしれない（効果的な戦略）

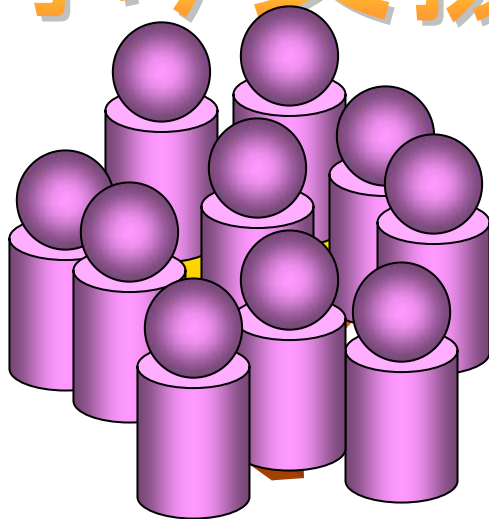
受診データとどんな関係があるのか（医療との関係）



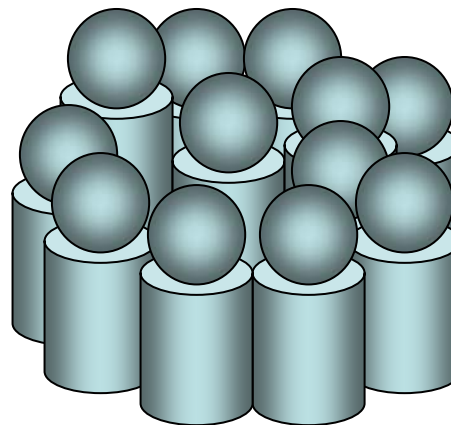
動機付け支援・積極的支援



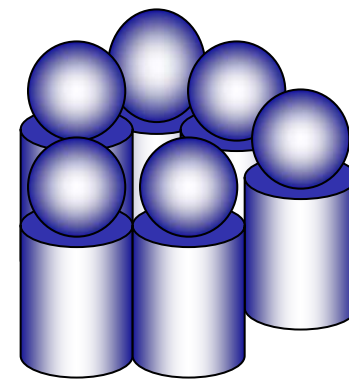
肥満・脂質



肥満・糖



肥満のみ



血圧・糖

特徴がわかると、支援の方法や費用、評価のやり方がわかる

さらに効率的に 支援の計画を立てるにあたって

- 肥満、糖、血圧、脂質など、メタボリックシンドロームの要因別に分けるのみで、効率的に行動変容を促すことができるか？
- 食事の時間や、運動の時間的ゆとりなど、少し細かな情報も必要
- 食の生活習慣と運動の生活習慣のどちらを変えようと思っているかなど、対象者のニーズも調査しておく必要がある
- 独自に工夫した問診などもデータベースとして扱い、支援プログラムを評価するときに役立てる

レセプトの注目すべき病名

	疾患名	I C D 1 0 コード
1. 虚血性心疾患	狭心症 急性心筋梗塞 再発性心筋梗塞 など、12疾患	I 2 0 I 2 1 I 2 2
2. 脳血管疾患	くも膜下出血 脳内出血 脳梗塞 その他の脳血管疾患	I 6 0 I 6 1 I 6 3 I 6 5 - 6 7
3. 腎疾患	慢性腎不全	N 1 8
4. 動脈硬化	アテローム硬化症 大動脈瘤および解離	I 7 0 I 7 1
5. 糖尿病 および合併症	糖尿病 糖尿病性腎不全 糖尿病網膜症 など、7疾患	E 1 0 ~ E 1 4 E 1 4 2 E 1 4 3
6. 高血圧性疾患 および合併症	本体性高血圧症 高血圧性心疾患 など、5疾患	I 1 0 I 1 1
7. 高脂血症	高脂血症	E 7 8
8. 高尿酸血症	高尿酸血症	E 7 9 0
9. 肝疾患	脂肪肝	K 7 6 0

50疾患
くらい

限られている